

市民意識調査 集計結果概要

《 総 括 》

- 1 回答者の約半数が高齢者層で、長期居住者。
- 2 住みたくない理由として、最も多かったのは、「医療・福祉面が不安」という回答であり、約3割を占めた。その様子は、回答者の62%が「病院などの医療機関の状況」に不満を感じていることから窺える。
- 3 若年層(20歳代・30歳代)の居住意向は低い。「できれば住みたくない」、「住みたくない」と考える若年層の比率は、前回調査より上昇。
- 4 将来都市像として、望ましい姿は「福祉・医療が充実したまち」と回答した市民が約26%、「産業が盛んなまち」「自然環境を活かした観光のまち」と回答し、産業分野に注力すべきと考える市民も多い。
- 5 市民が考える今後の根室市が取り組むべき重点政策
 - (1)保健医療・社会福祉分野・・・「医療の質の向上」、「子育て支援対策の充実」「お年寄りの医療の充実」など
 - (2)生活環境・産業振興分野・・・「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「水産業基盤及び生産体制の整備」、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」、「消防・防災・防犯対策の充実」など
 - (3)教育・スポーツ・レクリエーション分野・・・「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「児童・青少年の健全育成」、「芸術・文化の振興」など
- 6 その他として「少子化・子育て支援」、「学校教育」、「防災対策」についての市民ニーズを把握。少子化・子育て支援⇒「小児医療サービスの充実」、学校教育⇒「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、防災対策⇒「食糧・水・日常生活用品の備蓄」
- 7 好転した項目は、「ゴミ収集・処理」に関するもの。ゴミの減量化や再利用の促進を評価する声が一定数ある。
- 8 注視すべき点として、10年前と比較し、子育て支援対策の充実を求める比率が大きな伸びを示しており、経済的負担の軽減や子どもがのびのびと遊べる施設の整備、出産や育児について気軽に相談できる環境づくりを求める声も多い

平成25年10月
根室市総合政策部

1. 特性

○回答者数 883人(※16歳以上の市民より3,000人を無作為抽出)

○回答率 29.4%(※前回調査(平成15年度) 28.7%)

○年齢

⇒回答者の45.9%が60歳以上(※前回調査では34.3%)

30歳代以下(若年層)は、20.8%(※前回調査では24.4%)

40歳代～50歳代は、31.7%(※前回調査では、41.8%)

年齢層	構成比(%)	増減率(%)
30歳代以下	20.8	△3.6
40～50歳代	31.7	△9.0
60歳以上	45.9	11.6

○居住年数

⇒回答者の約半数が60歳以上であることも相まって、40年以上が6割を占める。

2. 根室市の現状について

○根室市の印象(イメージ)「(1)明るいまち」、「(2)清潔なまち」、「(3)活気のあるまち」、「(4)個性(特色)のあるまち」、「(5)ふれあいや連帯感のあるまち」、「(6)市民として誇りや郷土愛があるまち」全てで、前回調査と比較すると良い印象(イメージ)を持つ割合が増加。

①居留意向と生活満足度

⇒20代が「できれば住みたくない」、「住みたくない」との回答が一番多い。

(1)住みたくない理由(問5に対応)

「医療・福祉面が不安」、「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順。

順位	住みたくない理由	回答数(人)	構成比(%)
1位	医療・福祉面が不安	205	29.1
2位	交通の便が悪い	133	18.9
3位	娯楽や余暇活動の場が少ない	95	13.5
4位	買い物などの生活の利便が悪い	81	11.5

②不満に思っているもの(問6に対応)

「病院などの医療機関の状況」、「レクリエーション・娯楽施設の状況」、「観光施設の状況」、「公共交通機関の便利さ」、「道路除雪などの冬期対策」、「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」、「スポーツ施設の状況」、「子どもの教育施設や教育環境」、「自宅周辺の生活道路の整備状況」、「お年寄りのための福祉施設の状況」に不満を感じている。

順位	内容	やや不満・不満と感じている人の割合(%)
1位	病院などの医療機関の状況	62.0
2位	レクリエーション・娯楽施設の状況	57.0
3位	観光施設の状況	53.0
4位	公共交通機関の便利さ	51.1

3. 根室市の今後について

○根室市が、「福祉・医療が充実したまち」、「産業が盛んなまち」、「自然環境を活かした観光の盛んなまち」になるよう望んでいる。(問7に対応)

順位	どのようなまちを望むか	回答数(人)	構成比(%)
1位	福祉・医療が充実したまち	699	26.4
2位	産業が盛んなまち	425	16.0
3位	自然環境を活かした観光の盛んなまち	300	11.3

4. 重点政策について

○今後の重点政策について、「保健医療・社会福祉分野」、「生活産業・産業振興分野」、「教育・スポーツ・レクリエーション」の3分野に分類し、取りまとめた。

今後の総合計画策定委員会(根室市まちづくり市民会議)においては、この3分野を中心に議論するものである

(1)保健医療・社会福祉分野

■保健医療(問8(2)に対応)

「医療の質の向上」、「お年寄りの医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」、「乳幼児・母子等医療の充実」が重要であると考えている。

順位	重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	医療の質の向上	21.2
2位	お年寄りの医療の充実	17.0
3位	休日夜間などの救急医療対策	14.3
4位	乳幼児・母子等医療の充実	13.3

■社会福祉(問8(1)に対応)

「お年寄りのための施策の充実」、「子育て支援対策の充実」、「障がい者のための施策の充実」が重要であると考えている。

順位	重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	お年寄りのための施策の充実	25.7
2位	子育て支援対策の充実	19.4
3位	障がい者のための施策の充実	14.7

≪少子化・子育て支援⇒今回の意識調査においてニーズを把握≫(問10に対応)

少子化・子育て支援対策でも、「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」が重要と考えており、次に「経済的負担の軽減(保育料の軽減など)」、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」と続いている。

順位	少子化・子育て支援で重要だと思う施策	構成比(%)	分野
1位	急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実	21.6	保健医療
2位	経済的負担の軽減(保育料の軽減など)	13.8	社会福祉
3位	出産や育児について気軽に相談できる環境づくり	13.1	社会福祉
3位	子どもがのびのびと遊べる施設の整備	13.1	社会福祉

(2)生活環境・産業振興分野

■生活環境・道路交通(問8(3)、(4)に対応)

①道路交通について、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」、「身近な生活道路の整備」、「お年寄りや障がい者等に配慮した安全な歩道の整備」が重要であると考えている。

順位	道路交通で重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実	17.9
2位	身近な生活道路の整備	12.2
3位	お年寄りや障がい者等に配慮した安全な歩道の整備	11.9

②生活環境では、「公園や緑地などの整備」、「消防・防災・防犯対策の充実」、「美しい環境(まちなみ)の創出」の順となっている。

順位	生活環境で重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備	18.7
2位	消防・防災・防犯対策の充実	12.7
3位	美しい環境(まちなみ)の創出	12.6

＜防災対策⇒今回の意識調査においてニーズを把握＞(問13に対応)

防災対策では、「食糧・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「避難場所など防災拠点の整備」の順に重要であると考えている。

順位	防災対策で重要だと思う施策	構成比(%)
1位	食糧・水・日常生活用品の備蓄	26.2
2位	災害時の情報連絡手段の整備	22.2
3位	避難場所など防災拠点の整備	19.1

■産業振興(問8(7)に対応)

産業振興について、「水産業基盤及び生産体制の整備」、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」を重点的に取り組むべきと考えている。

順位	産業振興で重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	水産業基盤及び生産体制の整備	12.1
2位	魅力ある商店街づくり	11.0
3位	企業誘致による雇用の場の確保	10.1

(3)教育・スポーツ・レクリエーション分野

■教育(問8(5)に対応)

教育について、「児童生徒の健全育成」、「青少年の健全育成」、「教育内容の充実」を重点的に取り組むべきと考えている。

順位	学校・社会教育で重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	児童生徒の健全育成	15.3
2位	青少年の健全育成	13.7
3位	教育内容の充実	12.3

◀学校教育対策⇒今回の意識調査においてニーズを把握▶(問11に対応)

学校教育の充実を図るためには、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が必要と考えている。

順位	学校教育の充実化で力を注ぐべきだと思う施策	構成比(%)
1位	社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実	23.3
2位	生きる力を育てる総合的な学習の充実	15.7
3位	個性や才能を伸ばす教育の充実	13.2

■スポーツ・レクリエーション(問8(6)に対応)

スポーツ・レクリエーションは、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「芸術・文化の振興」、「音楽会・講演等の開催」の順に重要と考えている。

順位	スポーツ・レクリエーションで重点的に取り組むべき政策	構成比(%)
1位	スポーツ・レクリエーション施設の整備	15.7
2位	芸術・文化の振興	14.5
3位	音楽会・講演等の開催	12.1

5. 市民参画と情報共有について

○市民参画と情報共有(問14・15に対応)

市民協働の取り組みとしては、「清掃活動や花いっぱい運動」に参加したいが一番多く、まちづくりには、「世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい」と考えている。また、行政からの情報提供として「道路交通・除雪・気象等の情報」が一番望んでいる。

順位	行政から提供を受けたい情報	構成比(%)
1位	道路交通・除雪・気象等の情報	21.9
2位	文化行事・イベント情報	18.0
3位	行政に関する総合的な情報	17.8

順位	どのような活動に参加したいか	構成比(%)
1位	清掃活動や花いっぱい運動	21.5
2位	祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事	10.5
3位	お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動	10.4

順位	どのような形でまちづくりに参加したいか	構成比(%)
1位	世論調査(今回のようなアンケート調査等)で意思表示をしたい	30.7
2位	まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい	14.5
3位	町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい	11.6
3位	投書(市長のはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい	11.6